

## 市域のブロック分け(検討単位)について 【グループ協議】

### 1 審議会におけるこれまでと今後の審議

- ・現在、審議会での審議を中心に作成を進めている「基本計画(素案)」は、基本計画の核心部分となる再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など、学校再編の具体について整理するもの。
- ・これまでの審議、そして、新たな手法として取り入れた「審議と同時並行で行う意見募集等」は、学校再編の具体について検討するための取組であり、これらにより「本市が目指す学校像」を掘り下げ、具体的なイメージを形づくる作業を進めてきた。
- ・今後は、いよいよ基本計画の核心部分となる学校再編の具体について議論する段階となる。
- ・基本計画(素案)については、令和8年8月頃までにまとめたいと考えており、これに係るこれまでと今後の主な協議内容は以下のとおり。

区分	審議会	主な協議内容(現時点の予定)
これまで	第2回(12/18)	本市が目指す「魅力ある学校像」のイメージの具体化について
	第3回(1/15)	子どもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模について
今回	第4回(3/18)	市域のブロック分け(検討単位)について
今後	第5回(4月下旬)	目指す学校像の明確化、市域のブロック分け(検討単位)の整理、意見募集等の実施方法について
	第6回(5月下旬)	目指す学校像や児童生徒数の将来見込みを踏まえたブロック別優先順位の整理について
	第7回(7月頃)	再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など学校再編の具体案について
	第8回(8月頃)	再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など学校再編の具体案について

### 2 市域のブロック分け(検討単位)のポイント

#### (1) ブロック(エリア)分けの目的とポイント

- ・持続可能な魅力ある学校づくりの指針となる基本方針では、学校配置の考え方として「全市的視野に立つ」と整理している。
- ・この考え方を踏まえ、「20年後も存続し続ける学校」という視点から、学校単位の点で捉えるのではなく、市域全体をブロック(エリア)に分けた面で捉え、まずは、学校再編に係る優先順位を検討するため、市域のブロック分けを行う。
- ・市域のブロック分けに当たっては、基本方針で示す「学校規模の方針」、「学校配置の方針」や、「本市が目指す学校像」、「児童生徒数の見込み」などをもとに、「地域特性」も意識し検討する。

## (2) 基本方針で示す「学校規模の方針」「学校配置の方針」

- ・ 20年後も存続し続ける学校という視点で、ブロックごとに学校再編の具体について検討するに当たっては、基本方針で示す「学校規模の方針」「学校配置の方針」を念頭に進めることとする。それぞれの方針は以下のとおり。

### ■学校規模の方針

「望ましい学級数の目安」を目指しつつも、「少なくとも必要な学級数の目安」を重視し、今後20年を見据えた持続可能な学校規模を検討します。

望ましい学級数の目安	小学校 12 学級以上 中学校 9 学級以上
少なくとも必要な学級数の目安	小学校 6 学級以上 中学校 3 学級以上

### ■学校配置の方針

「学校規模の方針」とともに、以下の3つの考え方にに基づき、今後20年を見据えた持続可能な学校配置を勘案し、統廃合等の学校再編に向けた方策を検討します。

- ・ 国が示す通学距離(小学校おおむね4 km以内、中学校おおむね6 km以内)、通学時間(小中学校ともにおおむね1時間以内)に関する考え方も参考とする。
- ・ 必ずしも行政区やこれまでの通学区域に捉われない全市的視野に立つとともに、学校施設の老朽化等への対応状況や地域特性などを勘案する。
- ・ 保護者や地域住民との十分な合意形成を基本に、対象となる市立小中学校のうち小規模化が顕著な小学校を最優先に順次進める。

## 3 本日のグループ協議の内容

### 協議内容：どのようなブロック(エリア)分けが考えられるか

- ・ 本市の教育の特色である「地域密着型教育」に代表されるよう、教育における地域と学校の連携は、魅力ある学校づくりに欠かせない要素であり、「魅力ある学校像」において「地域とともに歩む学校」を掲げている。
- ・ 「学校配置の方針」では、「必ずしも行政区やこれまでの通学区域に捉われない全市的視野に立つ」という考え方を示している。
- ・ 現状の通学区域は、多くの場合、自治会や町内会など「地域コミュニティを形成する範囲のまとまり」との結びつきが強い。
- ・ 本日のグループ協議は、ブロック(エリア)分けを検討する最初の段階であることから、学校と地域との関りを勘案し、まずはブロック(エリア)分けの最小単位を「小学校の通学区域」とする。
- ・ ブロック(エリア)分けのポイントを念頭に、配布資料にある本市が目指す学校像や児童生徒数の見込み、学校との距離なども参考に、市域全体をいくつかのブロックに分けるとしたら、どのようなブロック分けが考えられるか。そう考える理由も含め、グループで話し合っていたきたい。

## 【グループ協議】

### 【手順1】アイスブレイク（目安5分）

- ・グループ協議に入る前に、場の雰囲気や和ませる意味で、まずは年明けからこれまでの出来事や気になることなどを交えながら、自己紹介しましょう。

### 【手順2】自分の考えを整理（目安5分）

- ・ブロック(エリア)分けの最少単位を「小学校の通学区域」とし、市域全体をいくつかのブロックに分けるとしたら、どのようなブロック分けが考えられるか。ブロック(エリア)分けのポイントや配布資料を参考に自分の考えを整理しましょう。

メモ

### 【手順3】グループ内でそれぞれの考えを発表・まとめ（目安20分）

- ・グループ内でそれぞれの考えを発表し、どのようなブロック分けが考えられるか。そう考える理由も含め、グループの意見としてまとめましょう。

メモ

### 【手順4】グループごとに発表（各3分）